

岐阜県食品輸出研究会

複数品目

基本情報

対象国 ベトナム

輸出額 約150万円/年

加盟者数 9社

主な販売先 外食、小売

活動地域 岐阜

品目数 複数

希望スキーム 間接輸出

備考 -

ベトナム市場に向けた日本産（岐阜県産）日本酒・加工食品等の輸出促進を目指す

日本産（岐阜県産）農林水産物・食品の理解促進のため、和食料理人の調理実演によりローカルシェフに調理指導等を行うことで、身近な食材として現地シェフが導入しやすくし、会員企業の輸出促進を目的とする。

団体概要

所在地 岐阜県岐阜市

設立年 平成25年8月1日

事業内容

認証取得 -

生産規模 -



取組の経緯 / 概要

- ・日本国内の人口減少及び岐阜県としても人口減少、高齢化が続いている中、特色や歴史ある商品の販路を海外に求めたいと考える企業が集まり、平成25年に岐阜県食品輸出研究会を組織した。
- ・企業単独での取り組みでは経験や人材が不足しているため、研究会では2か月毎に定例会を開催し、中小機構中部本部、ジェトロ岐阜をアドバイザーとして、企業間の情報交換、国・県地方の行政機関及び関係機関等からの情報提供等を行っている。
- ・コロナ前には、台湾、シンガポール、マレーシアでの展示会出展やオーストラリア（シドニー・メルボルン）の市場調査を実施してきた。

取組の成果

- ・輸出金額：675万円（2024年見込）

取組のポイント

和食料理人による調理実演を通して、日本の食文化への理解を深めてもらうことで更なる輸出促進を図る

輸出を進める上で抱えていた課題

TASK

課題

1

輸出の経験及び人材不足を要因として、企業単独での輸出の取り組みが進んでいない

TASK

課題

2

現地ニーズを十分に把握しきれていない

TASK

課題

3

輸出に関する支援策及び輸出情報の入手が困難

輸出成功のポイント

2か月に1度の定例会での意見交換

2か月に1度の定例会での会員企業との意見交換及び中小機構中部本部、ジェトロ岐阜からのアドバイスにより課題を克服

ベトナム輸出支援プラットフォームとの連携

在外公館、JETRO海外事務所等を主な構成員とする輸出支援プラットフォームと連携して、現地ニーズを把握

関係機関等からの輸出に関する情報提供

中小機構中部本部、ジェトロ岐阜をアドバイザーとして、国・県の行政機関及び関係機関からの情報提供を受ける

サプライチェーン別取組

日本の食文化の理解促進

- 和食料理人等による調理実演により食文化を現地シェフに訴求することで、県産農林水産物・食品をアプロウチする

商談機会の創出

- エクスポーター、インポーターとの関係構築を図り、サプライチェーンを構築
- 現地でのプロモーションへの参加促進

研究会の認知向上に向けた情報発信

- 令和6年度に立ち上げたFacebookを活用して、岐阜県食品輸出研究会の取り組みを情報発信する

販売

今後の輸出拡大に向けて

研究会メンバー間での連携を図りつつ、共同体としての輸出促進に向け、令和6年度に実施した成果、課題等を検証して、再度ベトナムに対するプロモーションを実施することで更なる輸出拡大を図る。